

礼 拝 順 序

司 式
奏 楽

前 奏
招 詞 詩編100:1-5
讃 詠 555
交 読 詩 編 118:22-29
美 歌 試用版174
聖 書 旧約 イザヤ 43:16-20 (p.1131 or 1310)
新約 コリント二 5:11-21 (p.330 or 383)
祈 禱 禱 歌 187
説 美 歌 教 「和解の任務」
祈 禱 禱 歌 235
奉 献 (献金・祈禱)
主 の 祈 (564)
頌 栄 542
祝 禱
後 奏 告

秋吉隆雄牧師

月 日	司 式	奏 楽	礼 拝	受 付	献 金	聖 餐 当 番
4/23						
4/30						
4/29	掃	壮年会、青年会 (バザー後)				
5/5	除					

一 次 週 礼 拝 一

説 教 「恵みの時」
聖 書 イザヤ49:1-9
コリント二6:1-13
讃 美 歌 試用版174 211
280 練習 試用版168
交 読 詩 編 118:22-29

一 本 日 の 集 会 一

求 道 者 会 礼 拝 後 於 談 話 室
初 め て 教 会 に 見 え た 方、求 道 者
(洗 礼 を 受 け て お ら れ な い 方) は
お 集 ま り く だ さ い。

バザー会場作り

昼食の用意があります。

一 今 週 の 集 会 一

野 庭 苑 訪 問

25日 (火) 午前10時

教 会 バ ザ ー

29日 (土) 午前10時半

教 会 員 は 9 時 半 ま で に お い で く
だ さ い。

一 報 告 と お 願 い 一

教 会 バ ザ ー に ご 協 力 ぐ だ さ い。
次 主 日 礼 拝 後、青 年 会 例 会 を い
た し ま す。

各 部、各 委 員 会 は 教 会 総 会 報 告
資 料 を 4 月 末 日 ま で に 牧 師 ま で ご
提 出 ぐ だ さ い。

一 集 会 状 況 一

	男	女	計
主 日 礼 拝 4/16	35	83	118
教 会 学 校 子 供 4/16	12	47	59
大 人 4/16	8	16	24
旧 約 を 読 む 会 4/18	1	8	9
野 村 港 南 台 集 会 4/19	1	2	3
入 門 講 座 4/20	4	9	13

一 牧 師 室 よ り 一

1995年 の イ ー ス タ ー 礼 拝 を
捧 げ た。バウロは「わたしたちの
『外なる人』は衰えていくとして
も、わたしたちの『内なる人』は
日 々 新 た に さ れ て い き ま す。」と
語 っ て い る。土 の 器 で あ る 「外

なる人』はもろく、弱く確実に滅びに向かっている。しかし、イエス・キリストの復活を信じる「内なる人」は神に向かって日々新たにされている。又「一時の軽い艱難は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます。」と語っている。パウロは「いつもイエスの死を体にまどっています、絶えずイエスのために死にさらされています」とイエス・キリストの十字架の死と深く結び合う、即ち隣人を愛するための艱難をあえて負うと語っている。今、その艱難はイエス・キリストの復活の命に与かる栄光と比べたら何ほどでもない。

そして「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」と語っている。ここで言われている「見えないもの、永遠に存続する」ものとはイエス・キリストを十字架の死から復活させた神ご自身である。パウロは、イエス・キリストの復活の事実から、見えないけれども永遠に生き給う神を見て、この方

に目を注ぐと語っている。

ここ3ヶ月くらいのうちに、私たちは、阪神大震災で大都市の脆弱さ、無差別毀傷の地下鉄サリン事件の恐怖、オウム真理教の狂気、警察庁長官銃撃と白昼ら致による治安の悪化、統一地方選挙での既成政党への不信、急激な円高による経済的混乱、そして横浜駅での有毒ガス事件などを知らされ、体験した。これらは、目に見えるもののみを見、それだけを追いかけてきた現実・拜金主義が様々に屈折し、深い人間不信と大きな社会不安として一気に吹き出してきたのではないか。

コヘレトの言葉に「神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる。」とある。人間は体を持って時間の中で生きている。しかし、同時に永遠を思う心が与えられている。時間は永遠の相から見る時初めてその意味と価値を見出し得る。永遠を望み見ることを忘れた文化は必ず滅びよう。私はこの世でイエス・キリストの復活を信じ、永遠を仰ぎ見る生き方をしたいと願っている。

週 報

1995年4月23日 復活節第2主日

巻16

4号

1995年度教会主題

「恵みに生きる」

聖句 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。

コリントの信徒への手紙 二 12章9節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電 話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振 替 00290-4-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄